



大内中だより

# さつきの丘

Webページはこちら→

令和8年3月19日  
第44号



## 令和7年度修了式

本日、令和7年度修了式を挙行いたしました。一年間の学びを締めくくる節目の日として、生徒一人一人が真剣な表情で式に臨む姿が見られました。皆さんに通知票とともに修了証をお渡ししております。それぞれ2・3年生への進級おめでとうございます。明日から4月6日（月）までの春季休業は、次の学年への準備期間です。目標をもって過ごしてほしいと思います。

ここでは、修了式後に行われた生徒発表について紹介いたします。

### 「今年度頑張ったことと来年度頑張りたいこと」

1年 田口 \*\*\* さん

私が今年度頑張ったことは、定期テストに向けた勉強です。小学校の頃とは違い、覚えることが増え、内容も難しくなり、最初はどのように勉強すればよいかわからず戸惑うこともありました。

その中でも、私は特に社会と数学の勉強を頑張りました。私はこの二つの教科が苦手で、テストの点数が安定しないことが多くあり、悔しい思いをすることもありました。思うような結果が出ないこともあり、悔しい思いをすることもありました。

そこで私は、ワークを何度も解き直したり、自分でドリルを買って問題を解いたりして、少しでも理解できるように努力しました。一度解いて終わりにするのではなく、間違えた問題をもう一度解いたり、時間をおいてから解き直したりすることを意識しました。最初はわからない問題も多くありましたが、同じようなものを何度も解くうちに、少しずつ、理解できるようになりました。

この経験を通して、すぐに結果が出なくても、努力を続けることの大切さを学びました。また、苦手なことから逃げずに向き合うことで、自分の力を伸ばすことができるのだと感じました。

また、勉強だけでなく、学校行事でもクラスのみならず協力して取り組むことができた。私は、前期学級書記、後期は学級副委員長を務めました。運動会や合唱コンクールなど、さまざまな行事を通して、クラス全体で一つの目標に向かって頑張る大切さを感じました。行事の準備や練習では、意見が合わないこともありましたが、話し合いを重ねることで少しずつまとまり、クラスの団結も強くなっていったと思います。そして、本番が終わったときには、みんなでやりきったという大きな達成感を感じることができました。

来年度は、今年の経験を生かして、さらに勉強を頑張りたいと思っています。特に、社会と数学の点数を安定させられるよう努力したいです。また、日頃の授業や復習を大切に、毎日コツコツ勉強して点数を少しずつ上げていきたいです。

さらに、先輩方の姿から学んだ、学年をこえて協力することの大切さを大事にし、後輩に伝えていきたいです。来年度もさまざまな事に前向きに取り組み、少しずつ成長していけるよう頑張りたいと思います。

### 「一年間の振り返り」

2年 佐々木 \*\* さん

私が今年一年間頑張ったことは、何事にも前向きに取り組むことです。中学二年生になり、勉強や学校生活には、様々な変化がありました。

特に、委員会や部活動では、後期から二年生が先頭に立って進めることになりました。最初はうまく進めることができるのかと、不安な気持ちがありましたが、その予想は的中しました。

委員会では、なかなか意見が出ず、進行役の私たちも、それに対してうまく対応することができませんでした。でも、意見が出ないときには指名して発言を促すことで、話し合いが進んでいきました。また、三年生が積極的に発言する姿を見て、一年生も徐々に発言できるようになってきました。そうして、活発な話し合いができるようになってきたと思います。

部活動では、一年生の人数が多く、みんなとても元気なこともあり、うまくまとめられないと感じる日々が続いていました。そこで二年生だけで話し合う時間を設け、みんなの気持ちを共有しました。そして、話の聞き方や返事、部活に臨む態度などを意識するよう伝えたところ、一年生が理解してくれて、部活の雰囲気が変わっていきました。みんなの気持ちがまとまったことで、演奏にもよい影響が出てきていると思います。

このように、委員会でも部活動でも、壁にぶつかることがありましたが、決してあきらめず、前向きに取り組むことで成長できました。

今、二年生が終わり、四月から最高学年の三年生になります。三年生になると、今まで以上に勉強が難しくなり、自分の進路についても真剣に考えていかなければならないと思います。今よりも責任が大きくなり、不安に思うこともあるかもしれませんが、しかし、この一年の経験を生かし、みんなで助け合い協力し合って頑張っていきたいです。私たちならできる。自分の力を信じて。We can do it!

# アルミ缶回収の収益金活用報告③（最終回）



高台苑様



特別養護老人ホームおおうち様

アルミニウム缶の回収で得られた収益金を活用しての物品寄贈の報告、第三弾（最終回）です。

3月16日（月）に生徒会事務局代表2名が、由利本荘市高齢者生活福祉センター高台苑様と社会福祉法人大内さつき会特別養護老人ホームおおうち様へ物品を贈呈にうかが



寄贈の様子

がありました。高台苑様にはドライヤーを、老人ホームおおうち様にはクッションを贈呈いたしました。

この場をお借りしまして、今年度のアルミ缶回収の収益金8万円を2小学校、3施設への物品寄贈に全額活用しましたことをご報告いたします。大内地域の皆様、ご理解、ご協力、本当にありがとうございました。来年度もよろしくお願ひいたします。

## 大中学生の頑張り

### ☆文部科学大臣杯 第17回全日本少年春季軟式野球大会

佐々木\*\*さんが所属している由利本荘少年野球クラブが昨年10月の秋田県予選を優勝し、3月20日（金）から岡山県倉敷市を会場に行われる「文部科学大臣杯 第17回全日本少年春季軟式野球大会 ENEOSトーナメント」に本県代表として出場します。健闘を祈ります。

### ☆齋藤憲三、山崎貞一顕彰会2025年度奨励授与式

（令和8年3月12日、ホテルメトロポリタン秋田）

銅賞 科学部

### ☆由利本荘市社協だより「みらいへ」（令和8年3月15日号）

私の住んでいる大内地域は、自然豊かで、優しい人が多い町だと思います。そんな大内でも、少子高齢化が進んできています。子供の数がどんどん少なくなり、高齢者の割合が高くなっていくように感じます。私は大内地域が、活気に満ち、いろいろな世代の人々が交流できる地域になってほしいと思っています。そのためにも地域の人が集まり、交流する機会を増やしたいと考えます。人と関わる機会が少なくなると、地域の繋がりが弱くなってしまおうと思ったからです。実際に地域の人が集まるイベントとして二〇二三年から行われている「おおうち春まつり」があります。春まつりでは、お店がたくさん出店し、食べ物や地域の人が作った手作りの品物などが販売されています。会場にはたくさんの方が集まり、とても賑やかです。保育園の園児たちや地域の人によるステージ発表を見るのも楽しみの一つです。また、大内中学校からは、吹奏楽部の演奏会や、科学部が主催する、誰でも気軽に実験ができる体験コーナーもあります。他にも、大内中学校では夏休みに地域の方と一緒にアルミ缶回収とクリーンアップ活動を行



大内中学校2年 佐々木\*\*さん

っています。地域の人とコミュニケーションを取りながら、町をきれいにするのができ、とても良かったです。アルミ缶回収の収益金で、地域の福祉施設へ福祉用品を、地域の小学校へボードゲームなどを購入し、寄贈しました。この活動を通して、自分の住む地域のために、みんなで協力して取り組むことの楽しさや、やりがいを感じました。そして、私たち中学生が地域のために力になれることは、まだまだあるのではないかと思います。今後実施してみたいこととして、冬は雪が多いため、除雪のボランティアにも挑戦してみたいと考えています。雪寄せは大変な作業ですが、高齢の方や忙しい方の助けになると思います。一緒に作業することで会話が生まれ、自然に交流も増えるのではないのでしょうか。また、一人で雪かきをすることによる事故の防止にも繋がると考えます。これからもおおうち春まつりのような行事や地域活動がもっと増えて、より多くの人が気軽に参加し、コミュニケーションがいつぱいの地域になってほしいです。そして、子どもからお年寄りまで、みんなが笑顔で安心して過ごせるような地域でありたいと思います。私も普段の挨拶や地域の活動を大切にして、地域を元気にしていきたいです。

本年度も、保護者・地域の皆さまには温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。子どもたちは皆さまのお力添えのもと、成長あふれる一年を過ごすことができました。来年度も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。